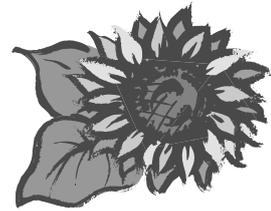


会 報

ひまわり

53号

ひまわりの会



— 発行人 —
 会長 北爪保枝
 — 事務局 —
 前橋市堀之下町 16 番 1
 (公財)群馬県健康づくり財団内
 電話 027 (269) 7811

第53号の発刊によせて



会 長
北爪 保枝

ひまわりの会の皆さま、お元気でお過ごしのことと思います。

3月になり、やわらかな日差しが心地よく感じられる季節となりました。

私共の庭もクリスマスローズ、今年はミモザの黄色い花が見事に咲いて春の訪れを楽しませてくれました。

3月11日、東日本大震災から5年の追悼が各地で行われました。犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします。

2月3日(水)・4日(木)にがんに向き合う作品展が前橋市民文化会館小展示ホールにて開催され、作品の出演・サロンコーナーのホスト役として、私たちひまわりの会会員も参加しました。

2月4日には、がん対策推進ぐんま県民大

会が前橋市民文化会館小ホールで開催され多くの方に作品をみていただきました。

そして、28年度の「全国よろこびの会」は、6月16日(木)・17日(金)に福島県会津若松市 会津東山温泉「御宿東鳳」で開催されます。会員の皆さま、体調を整えてご一緒に参加いたしましょう。

また、今年も秋にかけてたくさんの方の行事があります。

まず、今年で4回目となる、リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまが開催されます。

また、がん征圧共同キャンペーン、がん患者作品展、秋の親睦旅行等、体調に合わせて参加してください。よろしく願います。

お互いの不安を話し合える茶話会にも気軽にご参加ください。医師・保健師も相談に参加してくれます。笑顔で、楽しい会です。

ひまわりの会は、「がん征圧」がんの予防、早期発見、早期治療に関する啓発活動を行いひとりでも多くの方々に検診の重要性を訴えることが責務であると考え、日々努力しております。

そして、このような会の活動ができるのは、群馬県健康づくり財団の深いご理解とご支援、また事務局の皆さまの温かいお心遣いがある

ばこそと、会員一同感謝しております。
 春の暖かさまで、後もう少しというところ
 でしょうか。桜の開花も待ちどおしい昨今で
 す。
 会員の皆さま、今年もご協力よろしくお願
 いします。



平成27年度
 秋の親睦旅行に参加して
 青木 昭子

ひまわりの会年中行事のひとつ、秋の親睦
 旅行が、新潟県湯沢グランドホテルに決まり、
 11月13～14日 一泊二日で行って参りました。
 私は、毎年参加させていただいている「全
 国よろこびの会」に私の不注意から怪我をし
 て参加できませんでしたので、秋のひまわり
 の会の旅行が楽しみでした。
 健康づくり財団の車で、おしゃべりなが
 ら出発しました。
 道中、車窓からみた山々は紅葉がさかりで、
 とてもきれいでした。
 一日目の観光コースのひとつ、西福寺の開
 山堂は新潟県の重要文化財に指定されてあり
 まして、堂内の天井にはすばらしい神像の彫
 刻が数多く彫られ、また、たくさん壁画は
 大変すばらしい立派なものでした。
 二日目は、塩沢つむぎ記念館と鈴木牧之記
 念館を見学させていただきました。



湯沢グランドホテルにて

個人ではなかなか行くことができません
 で事務局の方に、いいコースを設定してい
 だき、楽しい二日間を過ごしてきました。
 ありがとうございます。また次回を楽し
 みにしています。



平成 28 年 1 月
「ひまわりの会」新年会での思い
塚越 宏一

ひまわりの会の皆さま、今年は何頭から暖かい穏やかな新年を迎え、ゆっくりとお正月の気分を満喫されたこととお慶び申し上げます。

1月16日(土)に、前橋ロイヤルホテルにて、会員の皆さま並びにお客様をお迎えして新しい年を心より慶び合えましたこと、すばらしき一年の始まりと、お互いの健康のよろこびを分かち合えましたこと、ありがとうございます。

私は、当日の新年会で、祝い酒を酌み交わしカラオケを楽しみながら、ふと思いました。「ひまわりの会」いい人たちの集いだなー
首都圏の奥座敷「群馬県」、名峰「赤城山」を背に毅然と県内を一望している群馬県庁。遠く谷川連峰が白銀一色に輝く姿、眼下に悠然と流れわたる清流利根川、目を少し左に向けてるとこれまた我が誇る素晴らしい

ルの浅間山と噴煙のコントラスト、いつも折々の季節感を目の当たりに見せてくれる様な霊峰。

一寸目を閉じてみると、日本一の名湯「草津温泉」湯畑、昔からの名湯「水上温泉」、「伊香保温泉」、秘湯「宝川温泉」、「四万温泉」、「薬師温泉」・・・

考えてみると、私たちは大自然に囲まれた温泉に浸って生活している気がしてまいります。

がんに苦しみ、闘い、大きな我慢をしながら、今では希望を大きく持っている私たちが、今でも日本中の多くの人たちが病で苦しんでおられます。その人たちに共感を抱き続け少しでも心の手助けができるように、自分に鞭打ち、かつ自分に感謝する日々が有ることに誇りを持ちたいと思います。

さて、今年は「全国よろこびの会総会」が福島県で開催され、29年度は我ら群馬県が担当するので、皆さま方と共に一層の努力をしたいと考えております。

我ら「ひまわりの会」は永年にわたる英知と努力の結晶の落着きのある素晴らしい団体です。

新年を迎えて、より一層私たちに与えられている機会と目標をしっかりと受け止めてがんばって行きたいと思えます。

平成 28 年 1 月 16 日 記



みなさん笑顔の年初めとなりました



「がんと向き合う作品展」
に出展、参加しました

平成 28 年 2 月 3 日 (水)・4 日 (木) 前橋市民文化会館で、群馬県がん患者団体連絡協議会主催の「がんと向き合う作品展」が開催されました。

4 日 (木) は、群馬県主催のがん対策推進ぐんま県民大会と同時開催となりました。がんピアサポーターによる相談などがあり、多くの方にご来場いただきました。

書道・写真・工芸・手芸など、この作品展に向けて準備をすすめてきた患者会の皆さんの、心のこもった作品が 105 点ほど並びました。

作品展について「書の部」

高橋 浩司

毎日、細字を毛筆で書くのが日課です。硯箱を開けると鼻をつく墨の匂いはなんともいえず、好きでたまりません。

今年の出品作は、「人」がテーマでした。

美術家の篠田桃紅さんのベストセラー「103歳になってわかったこと」の中からヒントをいただきました。

私は長い間、日本のトップクラスの展覧会に出品してきました。どの道も作品づくりは大仕事と 생각합니다。

構想から、いくつもの書道関係の辞書や書物を学び、事前の準備が大変です。書き込む時は、何日も、何枚も書くことになりま。何枚も書くことが、次の作品の「こやし」になります。

一つの点、一本の線、書き始めと終筆にすぐく神経を使います。完成までの過程の中に、言葉では表わせない充実感があります。心身共に、燃上るような気分になることが大きなポイントです。作者が燃えなければ見

る人は感動しません。当然すっかりした健康状態をつくり、臨みます。「白」と「黒」の対決ですので、真冬でも書いた後は汗ばむほどとなります。

いつも、いつも頭の中は、「次の作品」のことが離れません。いろんなことに興味を持ち、ヒントになるものを探して生きています。

最近特に感じることは、こんな生き方を持續していけば、「認知症」とは無縁でいられるかなと勝手に慰めています。

会場で、出品者のお話をうかがっていますと、「そこまでしなくても」とびっくりさせられることが多くあり、この上ないプラス思考が芽生えます。

いつになったら満足のいく作品ができるかわかりませんが、毎年出展することと決めています。



高橋さんの作品

作品展に参加して

新居 深年

平成28年2月3日、4日と二日間、前橋市民文化会館において「がんと向き合う作品展」が開催され、ひまわりの会からもたくさん作品が展示されました。

写真・絵画・書道・工芸品等、見事な作品の数々に会員の皆さんの多才ぶりに感心しました。

私も書道を4点出しました。一点は、準三級を受けるための条幅といって半切の長い半紙に書いたものを出すと言ったので、急いで額をたのんで入れて出展しました。長さが1メートル70センチくらいあったので、軽自動車にやっと乗せて持っていききました。思わず出展できてとても良かったです。作品展が終わってから家に持って帰ってからも茶の間に置いて、朝・昼・晩と見て、自分でもほれほれしています。会長さんはじめ、役員の方達、出展者のもとより、事務局の方の協力の賜と心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



新居さんの作品



作品展の様子と
会員さんの作品の一部



**「がん検診に行こう」
がん対策推進ぐんま県民大会
に参加して**

藤井 稔栄

2月4日（世界対がんデー）に、がん対策推進ぐんま県民大会（群馬県主催）が、前橋市民文化会館小ホールで開催されました。

大会では、講演・サイバーのギター漫談・がん患者による作品展示を通して、約500人の参加者が、がん予防や検診について考えた。

また、食生活や運動によるがん予防や早期発見のための定期的な検診を呼びかけようと初めて開かれました。

第1部講演では、「がん対策における国民の責務とは」と題して、講師 公益財団法人がん研究会有明病院（東京都）名誉院長 門田守人先生に講演をしていただいた。

第2部では、ギター漫談、テーマは「笑う門には福きたるやで・・・」。大阪生まれの大阪育ち、群馬県民になって早や19年を経過したヨロコンドぶっち（本名 岩渕健二）さん、前橋市在住がギター漫談を披露した。岩

渕さん自身も肺がんを患い左肺を切除したサイバーでもある。

また同時に、小展示ホールでは群馬県がん患者団体連絡協議会主催の「がん向き合う作品展」で、がん患者の活動紹介として、がん向き合う会員やその家族らが制作した写真・書道・絵画・立体作品など105点が展示され多くの方々に見ていただいた。



お く や み

桜井 信行 さん

〜桜井さんの奥様から
いただいた手紙です〜

ひまわりの会の皆さま

亡夫がたいへんお世話様になりました
三月に金沢・五月に房総へと思い出旅行
となりました

六月に肺炎で入院、三度の入退院の後、
自宅で看ることにしました

間質性肺炎で、酸素生活でした
幸い娘が介護の仕事・私も看護の経験が
有って助けになったかなと思っています

ひまわりの会に出かけるのを

毎回楽しみにしていました



長い間 本当に

お世話様になりました

感謝しています

謹んでお悔やみ申し上げます

一緒に活動してみませんか

ひまわりの会は、がんを患った方や
その家族で構成されています。同じ体
験をした者同士で、気兼ねなく何でも
話し、励まし合っています。

月に一度の定例会には、医師や保健
師も参加しています。

ひまわりの会への入会、お問い合わせ
せはお気軽に、事務局へご連絡ください。

ひまわりの会事務局

(群馬県健康づくり財団内)

電話 027 (269) 7820

